

■6月29日

国交省、航空機燃料税、減免措置継続必要、報告案提示

国交省は28日、交通政策審議会、航空分科会の基本政策部会に、今年度末で切れる航空機燃料税の減免措置に関する報告書案を示した。航空会社の国際競争力強化と路線網維持のため、空港の施設更新に充てる税収を考慮しつつ引き続き減免措置が必要とした。

航空機燃料税は、燃料1キロリットル当たり2万6000円だが、2011～13年度は1万8000円に引き下げている。国交省は、報告書案に基づき14年度税制改正要望での減免措置の扱いを検討する。また、報告書案は国内線の着陸料の見直しにも言及。主に機体重量に応じて徴収している現行体系を改め、着陸料の一部を旅客数に比例させる案を示した。

(時事ドットコム)6/28

http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013062800392 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013062800392)

国交省、インドネシアとの航空空間協議、羽田昼間時間帯、双方1便で合意

国交省は28日、日本とインドネシアの航空当局間協議で、早ければ2014年3月末に、昼間時間帯での路線開設を可能にすることで合意したと発表した。

これは、羽田空港の昼間の国際線発着枠が3万回から6万回に増加することに合わせたもの。

日本とインドネシア双方が、1日1便、2スロットずつを獲得できる。昼間時間帯の6万回化で路線開設が可能になるのは、インドネシアで8ヶ国目(英国、フランス、中国、シンガポール、タイ、ドイツ、ベトナム、インドネシア)となる。

(国交省プレスリリース)6/28

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03_hh_000211.html (-> http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03_hh_000211.html)

スターフライヤー、5月輸送実績、国内3路線、平均利用率61.2%

スターフライヤーは28日、2013年5月の旅客利用実績を発表した。これによると、国内3路線合計の搭乗者数は12万1,369人で前年比25.8%増加した(供給は36.6%増)。利用率は61.2%と、前年同月と比べて5.2ポイント低下した。

羽田空港の発着枠配分を受けて増便した羽田―福岡線は提供座席が前年同月比約2倍となったが、旅客数は66.7%増で、利用率は前年同月よりも11.5ポイント下がった。羽田―関空線は提供座席約2倍となったが、旅客数も96.7%増で、利用率は70.4%の高搭乗率となった。

一方、国際線の北九州―釜山線は搭乗者1万1,151人、利用率は61.2%だった。

(スターフライヤー プレスリリース)6/28

<http://contents.xj-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120130628080031.pdf> (-> <http://contents.xj-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120130628080031.pdf>)

鹿児島県、上海線利用 向上策、300名研修派遣を可決

鹿児島県が、鹿児島―上海路線存続を理由に県職員1千人の上海研修事業費1億1800万円を補正予算案に計上した問題で、県議会は28日、派遣人数を300人に減らした補正予算修正案を賛成多数で可決した。

修正案は、上海便存続の緊急対策として7～9月の3カ月に県職員、教職員、県民各100人を研修名目で3泊4日で上海に派遣する内容。参加した職員には1万5200円の日当が支払われる。事業費3400万円は財政調整積立基金から繰り入れるとした

(産経ニュース)6/29

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130629/kgs13062902080000-n1.htm> (->
<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130629/kgs13062902080000-n1.htm>)

FDA、静岡―福岡線、4800円記念運賃、富士山世界文化遺産登録

フジドリームエアラインズは28日、富士山の世界文化遺産登録を記念して、9月1日～10月26日の静岡―福岡線の特定便を対象に、4800円のバーゲン運賃(45割運賃に4800円の特別価格設定)を発表した。通常、同区間の片道普通運賃は3万800円。9月1日搭乗分は7月1日に発売する。

FDAは、世界文化遺産登録を機に静岡への観光客も増えるとみられ、同社は「他の路線でも、特別運賃を検討することになると思う」としている。

(朝日新聞)6/29

<http://www.asahi.com/area/shizuoka/articles/TKY201306280473.html> (->
<http://www.asahi.com/area/shizuoka/articles/TKY201306280473.html>)

(FDAプレスリリース)6/28

<http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130628.pdf> (-> <http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130628.pdf>)

静岡エアコミュータ、静岡空港に初の格納庫新設

鈴与グループの静岡エアコミュータ(SACC)は、来夏までに静岡空港で初の格納庫を新設する。県や同グループ関係者が28日までに明らかにした。総工費は約10億円。今年の9月ごろに着工し、来年7月ごろに完成予定。

格納庫は鉄骨平屋で、敷地面積は3750平方メートル。現在は小牧空港に保管しているSACCの小型機3機を移し、静岡空港を新たな拠点とする。また、同グループのフジドリームエアラインズが運航する小型ジェット機の保管や整備場所としても今後使用する。

空港の格納庫は、東日本大震災の際に岩手県の花巻空港などで非常用物資の一時的な貯蔵場所としても使われたことから、県では、東海地震や南海トラフの巨大地震発生時や、浜岡原子力発電所の事故発生時など、災害発生時の食料などの備蓄先としての役割にも期待を寄せている。

さらに、同グループ関係者は、企業が利用する「ビジネスジェットの拠点として静岡空港の可能性は大きい」とした上で、今回新設する格納庫を、海外から飛来するビジネスジェットや国内の空港を結ぶビジネスジェットの保管・整備場所として活用することも検討する。

(産経ニュース)6/29

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130629/szk13062902070000-n1.htm> (->
<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130629/szk13062902070000-n1.htm>)

金浦空港、国際航空輸送学会、空港運営の効率化でアジア1位

(朝鮮日報によると)

韓国空港公社は28日、国際航空輸送学会(ATRS)が実施する空港運営の効率性評価で、ソウルの金浦国際空港が2年連続でアジア地域1位に選ばれたと明らかにした。

ATRSは各国の航空専門家が所属する学会で、旅客輸送や航空機の運航回数、非航空収益の創出などを基に空港運営の効率性を評価し、毎年部門別1位を発表している。

金浦国際空港は大型商業施設を誘致して非航空収益を増やし、人員とコストの削減に努めた点が評価された。

(朝鮮日報)6/28

http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/28/2013062802252.html (->
http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/28/2013062802252.html)